

2020年2月20日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

「NEXT Challenge2019～大切な人に伝えたい、新しい挑戦」の応募結果について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 ^{いけがや みきお}池谷 幹男）は、新しいことにチャレンジする方を応援する企画として、2019年8月1日から10月31日までの期間、「NEXT Challenge2019～大切な人に伝えたい、新しい挑戦」（以下「本企画」）を募集し、本日、選考結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

「人生100年時代」の到来を控え、これからの人生を充実させたいと考えるアクティブシニアの方が増えている中、前向きに挑戦する方の人生そのものを応援したいと考え、「誰かのためにチャレンジしてみたいこと」を理由やエピソードとともに募集しました。

その結果、応募総数1,817件、年齢も最年少が4歳、最年長が94歳と幅広い年齢層の方から応募がありました。

厳正な選考の結果、別紙の通り「ベストチャレンジ賞」「チャレンジ賞」「審査員特別賞」を決定しました。「ベストチャレンジ賞」に選出された3作品を全文ご紹介いたします。

なお、その他の受賞作品に関しては、弊社ホームページ*に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。*<https://www.lifeplan.tr.mufg.jp/nextchallenge/index.html>

～ベストチャレンジ賞（3作品）～

『祖母をタイムマシンに乗せてあげたい』（東京都、16歳）

僕は科学者ではなく、ただの高校生だ。そんな僕が、祖母をタイムマシンに乗せて、祖母が育ってきた頃の風景を見せてあげたいと考えている。祖母の話はとても面白い。特に昔語りは戦後の苦しい生活の中で、たくましく生きる家族の様子がまるで映画を観ているように浮かんでくる。多摩川のほとりの、窓ガラスさえない、閉めると玄関が分からなくなる家。貧しくとも見栄を張りたい曾祖父。一家を支え看護師をしていた曾祖母。全てが物哀しく、それでいてどこか笑ってしまうような話だ。当時の写真はほぼ残っておらず、高級住宅地へと変わってしまった今の二子玉川を見ると幼い頃が幻だったような気がするという。僕は小説なんて書いたことはないが、祖母のために、これまで聞いた話で、短い物語を書こうと思う。上手には書けなくとも、それを読んだ祖母がタイムマシンに乗ってあの頃を見ることができたら本当に嬉しい。

『娘が20歳を迎えたとき、21枚の手紙を贈りたい』（神奈川県、31歳）

娘は今11ヶ月です。つたい歩きを覚え、表情も日に日に豊かになってきて、その成長の早さに驚かされる毎日です。そんな娘への最初の手紙は、娘が生まれたその日に書きました。ようやく会えた喜びに涙が止まらなかったこと、これからしっかり見つめあって笑いあって過ごしていきたいこと、不安と期待が入り混じった母の素直な気持ちを手紙に綴りました。その時その時の娘への新鮮な気持ちを残せるよう、これからも毎年娘の誕生日に手紙を書くことを決めました。20歳の誕生日まで続けたら全部で21枚。成人となり、新たな人生の門出に立つ娘に、20年間の愛情を込めて、21枚の手紙を贈りたいと思います。もうすぐ1歳。今年はどうな言葉を贈ろうか、すやすやと眠る娘の寝顔を見ながら考えています。いつかその手を離さなきゃいけない日がくるまで、お母さん、しっかり手を繋いでいるからね。あなたの人生が素晴らしいものになるように。

『君がいてこそ仲間』（大阪府、70歳）

私たち団塊の世代も認知症の仲間入りをする年になってきた。ところが、仲間の一人が早くも59歳で若年性認知症になり家に閉じこもりがちになった。打ちひしがれた彼を仲間ハイキングやジョギングに誘い出した。初めのうちは症状を忘れるほど進行は穏やかだった。ところが徐々に山道を平気で逸れて歩き、走ってもコースをよく外すようになった。穏やかに思えた病気が徐々に進行していくのは止めようがなかった。ハイキングやジョギングがウォーキングに変わったが、彼は青空を眺めては気持ちいいなあ、草花を見ては綺麗だなあと感動する。彼は仲間が忘れかけていた心をずっと持ち続けている。「仲間ってええもんやなあ」と彼がつぶやいたが、それは彼だけでなく仲間共通の思いだった。約束なんか忘れてもいい、君がいてこそ仲間なんだから。これからはずっと君を仲間ですべて支えていこうと思う。

～チャレンジ賞（5作品）～	
長野県、52歳	大人になってからだってピアノは弾けるはず
愛知県、72歳	『お地蔵さま作り』を通して学んだ『大切な何か』
愛知県、62歳	母に「大阪パーティー」をしてあげたい。
京都府、8歳	西おさんより上手なかやぶきしょく人になっておどろかせたい
京都府、77歳	京都検定に挑戦し京都好きの亡き妻に合格証を見せたい

～審査員特別賞（10作品）～	
東京都、30歳	父と一緒にホノルルマラソン完走！
神奈川県、59歳	亡き夫との思い出の花壇をもう一度復活させたい。
東京都、34歳	親孝行へのプレーボール。
三重県、78歳	85歳までに気象予報士を目指す
東京都、48歳	味の継承。
東京都、49歳	母と眺めた故郷の小さな花火大会を存続させたい
東京都、57歳	植木屋になる！
千葉県、78歳	みつつ目の挑戦
東京都、80歳	逆転人生かな、妻に手料理を！
大阪府、61歳	子供たちに親父の「第九」コーラスを聴かせたい。

※順不同（お住まいと年齢は応募当時のもの）

審査員からのメッセージ

内館 牧子 脚本家



今回の応募作は、チャレンジしたいことが非常に多岐にわたっており、「そうか、こういうこともできるか」と私自身の目がさめる思いでした。と同時に、チャレンジの最大の起爆剤は、家族や友人たちを想う心なのだと、再認識させられています。人は絶対に一人ぼっちではない。そう思わせる作品がとても目につきました。

鎌田 實 医師・作家



人が生きる上で、チャレンジすることはとても大切。壁にぶつかっても、挑戦を意識した人は、人生を明るい方向へ変えて行く。今回の受賞者の目標の根底には、誰かのためという思いがありました。素晴らしいことです。それぞれが、誰かのためにチャレンジすることで、令和の時代、明るく豊かになっていくと信じています。

分析結果概要

◇ 最も多かったキーワードは、「1位勉強・語学、2位音楽、3位健康」

人生 100 年時代を自分らしく生きるために、多くの方が様々な挑戦をしていることがわかりました。挑戦することに年齢は関係ないということに、改めて気づかされました。

◇ 人生のターニングポイントでチャレンジを決意

「退職」「卒業」「結婚」など、人生の変化があるときに、新しいチャレンジを決意される方が多い傾向にありました。

◇ 長寿時代の中で自分の身体と向き合うことが大切

健康寿命を延ばすために、「スポーツ」「運動」「音楽」などを始められる方が多い一方で、「認知症」「病気」「介護」などのキーワードが散見されるなど、トラブルを抱えながらも、積極的に新しいことに挑戦されている方が多くいらっしゃる事が分かりました。

◇ 2019年に起きた出来事や世相を反映した言葉が多く見受けられました

- 「オリンピック・五輪」・・・2020年東京オリンピック抽選開始
- 「ラグビー」・・・2019年ラグビーワールドカップ
- 「ボランティア・災害」・・・台風などによる豪雨災害
- 「令和」・・・新元号の発表

■ 男女別の応募者数

	男性	女性	未記入	合計
応募率	629	973	215	1,817
比率	34.6%	53.5%	11.8%	100.0%

■ どなた宛の作品か

	男性	女性
配偶者	31.6%	16.3%
お子さま	13.1%	18.1%
ご両親	9.8%	16.2%
お孫さま	9.2%	8.5%
ご友人	5.5%	7.1%
祖父母	1.5%	1.6%
会社の同僚	1.2%	1.2%
その他（世の中など）	23.7%	29.4%

■目立ったキーワード

	男性	女性	未記入	合計
勉強・語学	82	147	14	243
音楽・楽器	57	106	22	185
健康	65	91	27	183
旅・旅行	55	89	1	154
認知症・病気	53	83	23	159
介護	32	76	15	123
スポーツ全般	60	54	8	122
食べる・料理	37	63	12	112
写真・カメラ	32	49	8	89
絵	22	63	2	87
ボランティア	26	46	6	78
長生き・長寿	26	36	4	66
震災・災害	20	20	9	49
令和	8	17	5	30
オリンピック・五輪	10	16	1	27

<ご参考>【本企画の概要】

(1)募集内容	<ul style="list-style-type: none"> ・<タイトル>誰かのためにチャレンジしてみたいこと（30字以内） ・<本文>その人のためにチャレンジしたい理由やエピソード（200字～400字程度）
(2)募集期間	・2019年8月1日（木）～2019年10月31日（木）
(3)応募方法	・店頭、郵送または弊社のホームページからご応募いただけます。
(4)特典	<ul style="list-style-type: none"> ・<ベストチャレンジ賞（3名）>ギフトカード30万円分を贈呈 ・<チャレンジ賞（5名）> ギフトカード10万円分を贈呈 ・<審査員特別賞（10名）> ギフトカード3万円分を贈呈
(5)審査委員	<ul style="list-style-type: none"> ・内館 牧子氏（脚本家） ・鎌田 實氏（医師・作家）
(6)発表	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年2月20日 （弊社ホームページなどで入賞者の作品と氏名を発表）
(7)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・作品はアマチュアの方の自作で未発表のものに限ります。 ・応募作品は返却いたしません。 ・応募作品に関するすべての著作権は弊社に帰属します。 ・詳細は弊社ホームページの特設サイトからご確認ください。 https://www.lifeplan.tr.mufig.jp/nextchallenge/index.html

以上